



## 2022年6月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年11月9日

上場会社名 協立電機株式会社

上場取引所 東

コード番号 6874 URL <http://www.kdwan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西 信之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 平井 伸太郎

TEL 054-288-8899

四半期報告書提出予定日 2021年11月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年6月期第1四半期の連結業績(2021年7月1日～2021年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年6月期第1四半期	6,441	3.6	276	208.0	280	122.8	175	395.9
2021年6月期第1四半期	6,217	18.2	89	71.6	125	62.3	35	78.8

(注) 包括利益 2022年6月期第1四半期 288百万円 (241.4%) 2021年6月期第1四半期 84百万円 (53.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年6月期第1四半期	43.63	
2021年6月期第1四半期	8.80	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年6月期第1四半期	24,036	14,185	56.3
2021年6月期	24,049	14,111	56.1

(参考) 自己資本 2022年6月期第1四半期 13,531百万円 2021年6月期 13,480百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年6月期		0.00		55.00	55.00
2022年6月期					
2022年6月期(予想)		0.00		55.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年6月期の連結業績予想(2021年7月1日～2022年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,100	17.6	2,000	60.3	2,100	52.1	1,300	50.3	323.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年6月期1Q	4,369,200 株	2021年6月期	4,369,200 株
期末自己株式数	2022年6月期1Q	344,954 株	2021年6月期	344,954 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年6月期1Q	4,024,246 株	2021年6月期1Q	4,024,401 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大の中、徐々に持ち直しの兆しが見えつつも、半導体不足や資源高騰による企業収益や景況感の悪化など厳しい状況が続いております。また、国外での感染症動向等を背景に依然として先行きが不透明な状況で推移いたしました。

当社グループとしましては、経営基本方針としている「One Stop Shopping」施策を継続して推し進め、受注範囲の拡大及び収益性の向上を目指し、新たなビジネスモデル構築に引き続き尽力して参りました。人手不足が深刻化する環境下での省力化投資を目的としたロボット需要の拡大、さらにはロボットの作業範囲を広げるAIの進展等、引き続き当社グループには強い追い風が吹いております。前連結会計年度後半より大手企業の設備投資意欲は高まっておりますが、これに年初来続いている樹脂不足と半導体の供給不足が大きく水を差しており、これらの供給回復の糸口が見えない中、設備投資需要に供給が追い付いていない状況が引き続き継続しております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は64億41百万円（前年同四半期比3.6%の増）となり、損益面としましては営業利益が2億76百万円（同208.0%の増）、経常利益が2億80百万円（同122.8%の増）、親会社株主に帰属する四半期純利益が1億75百万円（同395.9%の増）となりました。

なお、当社グループのセグメント別概況は次のとおりです。

#### <インテリジェントFAシステム事業>

インテリジェントFAシステム事業では、ロボット関連事業の拡大もあり比較的順調に推移し、利益率の改善もみられておりました。依然として新型コロナウイルス感染症の影響を受けておりますが、投資意欲の改善から足元の受注状況は堅調に推移いたしました。

以上の結果、インテリジェントFAシステム事業の当第1四半期連結累計期間における売上高は20億75百万円（前年同四半期比7.0%の減）、営業利益は1億81百万円（同1億77百万円の増）となりました。

#### <IT制御・科学測定事業>

当事業のうちIT制御は主として製造業の合理化・研究開発の自動化等を目的とした設備投資の対象であるため、比較的景況の影響を受け易い傾向にあります。一方、当事業でも科学測定事業は科学分析・計測機器等に代表される企業の新製品開発を目的とする部門や品質管理部門を対象とするため、景気の動向に左右されにくく安定的な分野であります。当第1四半期連結累計期間においては、いずれの分野においても投資意欲への大きな回復基調が見られたものの半導体関連を中心に部品の供給不足が続いており、受注が先行した状況で推移いたしました。

以上の結果、IT制御・科学測定事業の当第1四半期連結累計期間における売上高は43億59百万円（前年同四半期比9.6%の増）、営業利益は1億53百万円（同11.4%の増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産の合計額は240億36百万円で、前連結会計年度末に比べ12百万円の減少となりました。これは主として商品及び製品・仕掛品・原材料の棚卸資産と投資有価証券が増加した一方、現金及び預金と受取手形、売掛金及び契約資産・電子記録債権を合わせた売上債権と土地が減少したこと等によるものであります。

負債につきましては、負債の合計額が98億51百万円で、前連結会計年度末に比べ86百万円の減少となりました。これは主として賞与引当金と流動負債のその他が増加した一方、支払手形及び買掛金・電子記録債務を合わせた仕入債務が減少したこと等によるものであります。

純資産につきましては、純資産の合計額が141億85百万円で、前連結会計年度末に比べて73百万円の増加となりました。これは主としてその他有価証券評価差額金が増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本資料に記載されております業績予想につきましては、2021年8月10日に公表いたしました予想数値から変更ありません。なお、業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,287,688	6,201,940
受取手形及び売掛金	6,829,069	-
受取手形、売掛金及び契約資産	-	6,492,047
電子記録債権	1,891,413	1,957,738
商品及び製品	360,753	604,119
仕掛品	488,121	553,116
原材料	478,500	527,292
その他	220,632	214,532
貸倒引当金	△15,455	△28,302
流動資産合計	16,540,724	16,522,484
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,925,130	3,826,681
その他(純額)	994,265	1,036,977
有形固定資産合計	4,919,395	4,863,658
無形固定資産		
	129,576	130,933
投資その他の資産		
投資有価証券	1,588,273	1,681,423
その他	1,222,945	1,166,579
貸倒引当金	△351,530	△328,323
投資その他の資産合計	2,459,689	2,519,679
固定資産合計	7,508,661	7,514,271
資産合計	24,049,386	24,036,755
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,062,926	4,824,345
電子記録債務	1,447,010	1,377,934
1年内返済予定の長期借入金	-	500,000
未払法人税等	175,907	135,678
賞与引当金	156,381	322,365
役員賞与引当金	35,700	-
その他	646,777	768,618
流動負債合計	7,524,702	7,928,941
固定負債		
長期借入金	1,880,000	1,380,000
退職給付に係る負債	430,478	435,370
その他	102,319	106,933
固定負債合計	2,412,797	1,922,304
負債合計	9,937,500	9,851,245

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,441,440	1,441,440
資本剰余金	1,872,124	1,872,124
利益剰余金	10,392,729	10,358,661
自己株式	△424,862	△424,862
株主資本合計	13,281,431	13,247,363
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	207,108	292,014
退職給付に係る調整累計額	△8,305	△7,813
その他の包括利益累計額合計	198,802	284,200
非支配株主持分	631,651	653,946
純資産合計	14,111,885	14,185,510
負債純資産合計	24,049,386	24,036,755

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年7月1日 至2020年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年7月1日 至2021年9月30日)
売上高	6,217,111	6,441,666
売上原価	5,208,554	5,235,601
売上総利益	1,008,556	1,206,065
販売費及び一般管理費	918,744	929,439
営業利益	89,812	276,625
営業外収益		
受取利息	594	780
受取配当金	1,673	2,435
仕入割引	6,122	7,368
解約精算金	20,250	-
雑収入	12,205	8,636
営業外収益合計	40,845	19,221
営業外費用		
支払利息	791	948
為替差損	3,225	418
貸倒引当金繰入額	-	13,000
雑損失	823	1,154
営業外費用合計	4,840	15,521
経常利益	125,817	280,325
特別利益		
固定資産売却益	19	19
投資有価証券売却益	-	66,480
特別利益合計	19	66,500
特別損失		
固定資産除却損	0	73
特別損失合計	0	73
税金等調整前四半期純利益	125,837	346,752
法人税等	89,829	154,937
四半期純利益	36,007	191,815
非支配株主に帰属する四半期純利益	603	16,236
親会社株主に帰属する四半期純利益	35,403	175,578

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	36,007	191,815
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	47,991	95,799
退職給付に係る調整額	380	491
その他の包括利益合計	48,372	96,290
四半期包括利益	84,379	288,105
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	75,429	260,976
非支配株主に係る四半期包括利益	8,950	27,129

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。これにより、工事請負契約等に関して、一定の期間にわたり充足される履行義務については、期間がごく短い場合を除き、履行義務の充足に係る進捗度を見積り、当該進捗度に基づき一定の期間にわたり収益を認識する方法に変更しております。また、期間がごく短い工事及び一時点で充足される履行義務については工事完了時に収益を認識する方法を採用しております。なお、履行義務の充足に係る進捗率の見積りの方法は、主に見積総原価に対する実際原価の割合(インプット法)で算出しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、当第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、当第1四半期連結会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は171,417千円増加し、売上原価は110,398千円増加し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ61,019千円増加しております。また、利益剰余金の当期首残高は11,686千円増加しております。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、当第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することとしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

## (セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計
	インテリジェントFAシステム事業	IT制御・科学測定事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,231,010	3,976,844	6,207,854	9,256	6,217,111
セグメント間の内部売上高又は振替高	37,018	90,950	127,968	19,172	147,141
計	2,268,028	4,067,795	6,335,823	28,428	6,364,252
セグメント利益	4,058	137,707	141,766	23,880	165,646

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等を含んでおります。

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	141,766
「その他」の区分の利益	23,880
全社費用(注)	△75,834
四半期連結損益計算書の営業利益	89,812

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	インテリジェントFAシステム事業	IT制御・科学測定事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,075,427	4,359,276	6,434,704	6,962	6,441,666
セグメント間の内部売上高又は振替高	217,613	161,709	379,323	18,563	397,886
計	2,293,040	4,520,986	6,814,027	25,525	6,839,553
セグメント利益	181,383	153,405	334,788	21,757	356,546

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	334,788
「その他」の区分の利益	21,757
全社費用(注)	△79,920
四半期連結損益計算書の営業利益	276,625

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。